株式会社プロテックス

Ver 1.1　作成日　2024 年 11 月

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名

ノロウイルス粒子測定キット

商品番号

010107001

会社名

株式会社プロテックス
埼玉県和光市南 2-3-13 和光理研インキュベーションセンター
Tel: 048-424-5722　　Fax: 048-424-5799　　Web: https://prote.jp

緊急連絡電話番号

048-424-5722 月曜日から金曜日(祝日を除く) 9:00-17:00

用途及び使用上の制限

試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物質又は混合物の分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性　区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　区分 2A

絵表示

注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激を起こす
強い眼刺激を起こす

注意書き

安全対策　取扱い後は、よく顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
保護手袋、保護衣服、保護眼鏡、保護面を着用すること

応急措置　飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱ぐか、取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
眼に入った場合、水で 15 分以上洗うこと。もしコンタクトを着用していた場合、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。
気分が悪い時は医師に相談すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。

廃棄　　非該当

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	濃度	化学式	官報公示整理番号（化審法）	CAS 番号
A:抗体固相マイクロプレート	-	N/A	N/A	N/A
B:洗浄原液(X 20)	-	N/A	N/A	N/A
C:検体希釈溶液	-	N/A	N/A	N/A
D:標識抗体溶液	-	N/A	N/A	N/A
E:発色液	-	N/A	N/A	N/A
F:反応停止液(くえん酸溶液)	40%以上	$C_6H_8O_7$	2-1318	77-92-9
H:模擬試料	-	N/A	N/A	N/A

4. 応急処置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合

数分間気をつけて水で洗うこと。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

直ちに多量の水を飲ませる。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
医師の診断、手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水スプレー、二酸化炭素、泡、粉末消化剤、砂

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある

特有の消火方法

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。
着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて 一挙に消火する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸を含め防護服(耐熱性)を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な防護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項

汚染された排水などが適切に処理されずに環境に排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法

砂又は不活性吸着剤撒いて、出来るだけ掃き取り密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。

回収後は多量の水で洗い流す。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所廃棄装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取り扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

1) 抗体固相マイクロプレート、洗浄原液(X 20)、検体希釈溶液、標識抗体溶液、発色液、反応停止液

直射日光を避け、冷蔵庫(2～10°C)に密閉して保管する。

2) 模擬試料

冷凍保管(-20℃)してください。

容器包装材料

アルミ防湿パック

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所廃棄装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
くえん酸	設定されていない	-	-

保護具

呼吸器の保護具

保護マスク、自給式呼吸器(火災時)

手の保護具

不浸透性保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

不浸透性前がけ、不浸透性作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	1.2(25°C)
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	データなし

蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	情報なし
比重(密度)	42g/100ml
溶解度	水に易溶、エタノール、ジエチルエーテルに可溶
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の取扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性

酸化剤、塩基と反応する。金属類を侵す。

避けるべき条件

日光、熱、酸化剤、塩基、金属、金属硝酸塩との接触

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

製品として

急性毒性

データなし

くえん酸として

急性毒性(経口)

ラット　LD_{50}: 3g/kg

マウス　LD_{50}: 5040mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激　ウサギ 500mg/24H 軽度

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼刺激　ウサギ 750μg/24H 重度

12. 環境影響情報

製品として

生体毒性

情報なし

オゾン層への有害性

データなし

くえん酸として

残留性・分解性

微生物による分解性が良好と判断される物質。分解度;77%(BOD)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

国内法規制

陸上輸送:　消防法　非危険物

海上輸送:　船舶安全法　非危険物

航空輸送:　航空法　非危険物

国連分類:　該当しない

国連番号:　　該当しない

15. 適用法令

消防法：	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
労働安全衛生法:	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規制:	該当しない
航空法:	該当しない
PRTR 法:	該当しない
輸出貿易管理法:	該当しない

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

その他

この安全データシートは、各種文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではないので、取扱いには注意してください。
当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。
現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。
当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。
当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用 される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。
国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。
当該物質の日本語による SDS と他国言語にて翻訳された SDS が存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。